

# 平成 29 年度 地域ケアプラザ及びコミュニティハウス事業報告書

## ■ 施設名

横浜市新羽地域ケアプラザ  
横浜市新羽コミュニティハウス

## ■ 事業報告

今年度、地域ケアプラザ及びコミュニティハウスの管理運営をどのように行ったのか、具体的に記載してください。

### 施設の適正な管理について

#### (1) 施設の維持管理について

安全に快適にご利用いただくために、定期的な点検など適切な維持管理に努め、長く市民の拠点として愛される拠点になるよう、保全に努めました。同時にアンケートや利用者全体会、ご意見箱などによりご利用の方からの声を集め、施設を安全・安心・清潔にご利用していただけるよう、床段差の表示を変えたり、トイレを使いやすいよう常時通路を確保したり、レイアウトの変更を行いました。

#### (2) 効率的な運営への取組について

他部門の業務も円滑にサポートできるよう年間5回の全員会議と全員研修を組んでまいりました。特にお部屋の貸し出しについては変更について同じ案内ができるよう、情報共有を図ってきました。

コミュニティハウスについては会議・学習室は団体利用の無いときには個人利用に開放するなど柔軟な対応を実施して施設稼働の向上に努めました。またアンケートや利用者全体会、利用後のお部屋チェック時の聞き取りやご意見箱などによってご意見を伺い、ご利用者にとっても職員にとっても効率的な予約会、ご利用となるよう改善を重ねてまいりました。

#### (3) 苦情受付体制について

苦情や要望に迅速かつ適切に対応できるように、法人の福祉サービスに関わる苦情解決運用要領の中で、法人内苦情受付担当者、第三者委員会、苦情解決責任者及び苦情解決調整委員会が設置されています。また職員の人権意識の現状把握、啓発及び研修を目的として、人権委員会を設置し本制度を補完しております。事業所長は苦情解決調整委員、地域包括支援センター社会福祉士が苦情受付担当者を担い、館内に掲示しました。

介護保険事業ではサービスご利用時の重要事項説明書に苦情相談受付窓口について明記しました。受付担当者をはじめ公的機関の苦情相談窓口等、丁寧な説明を心がけてまいりました。

館内の利用に関しても、苦情まではいかなくとも、ご不便ご不満に思われたことについては職員間で情報共有を図り、会議の場を使って改善の方法があるかを検討してきました。

利用者アンケートでお受けした改善要望などについても、部屋のレイアウト改善を図り、またその改善を予約会や利用者全体会などで発表しました。

#### (4) 緊急時（防犯・防災・その他）の体制及び対応について

緊急連絡網及び緊急時の対応マニュアルを活用して、迅速かつ適切な対応に努めました。防災訓練を震災火災だけでなく洪水想定も計画し、通報訓練・初期消火訓練・避難誘導・救命訓練を実施して、職員等の防火意識の啓発と資質の向上に努めました。また年度末には区と協働して福祉避難所の開設訓練も行い、その後職員で振り返りをして表示や物の置き場所を変えたり工夫を重ねてきました。災害時の職員安否と初動の確認を兼ねて、災害時通信訓練も年2階実施しました。

また防火管理体制表に沿った訓練を実施し、避難誘導時の各職員の役割分担を再確認いたしました。職員全員研修では防火防災研修を実施しております。

夕刻時に異常ないかの見回りをし、かつ施設閉館時はセキュリティロックを掛けて出ています。

#### (5) 事故防止への取組について

壁やスライドウォールの破損などは表示をし、かつ迅速な修理をすることによって事故を未然に防いでまいりました。また椅子座面や机脚の安定のため、休館日を活用してのネジ締めなども行いました。

小さなお子さんの手が、ガラスエントランスの引き込み部に巻き込まれないよう、引き込み幅の変更をしたり、駐車場から歩道ポールの視認性を高めるためにパイロンを置いたり、すぐに打てる改善策を実施するようにしてまいりました。

事故情報について、日々のミーティングや会議等で職員間での情報の共有、事故原因の検証を迅速に実施し、再発防止に取り組みました。

建物や設備等については、職員による日常点検と委託業者による定期点検を実施して、手すりのゆるみも締め直すなど事故の発生を未然に防ぐよう環境整備に努めました。

貸館事業では、備品等の日々のチェックによる環境整備、業務の見直しと研修により、業務の標準化を図り事故防止に努めました。

個人情報の取り扱いについては閉館時も机上に個人情報を置きっぱなしにしない、利用ファイルのある場所にはすべて施錠する、など事故防止のためのルールを皆で再確認いたしました。

#### (6) 個人情報保護の体制及び取組について

法令及び横浜市の個人情報の保護に関する条例や法人の個人情報管理規程に基づいて、適切な対応しました。事業所長は個人情報管理者を担い、個人情報管理委員会の定めた取り組み計画等に従って、所属事業所における個人情報管理に関する取り組みを推進する責務を担いました。個人情報保護に関する基本方針や個人情報の利用目的について等を館内に掲示して、個人情報保護の意識を高め、職員は個人情報漏えい事例の情報共有等研修の機会を持ち、また個人情報漏えい防止チェックシートによる自己点検での振り返りを実施して定期的な注意喚起に努めました。

漏洩リスクの高い場面については、幾たびも職員会議の中で取り上げたり、改善策を検討し、お互いに意識できるようにしてきました。

#### (7) 情報公開への取組について

広報紙を総カラー化し、親しみやすく興味を持ってもらえる紙面作りをしました。カラー印刷を外注化することにより、掲載の写真は臨場感を持って伝わり、また細かなところまで写せるようになりました。書体、紙の質、イラストの置き方も工夫し、目の良くない方でもできるだけ読みやすい記事になるよう、工夫を重ねてきました。

運営協議会や法人機関紙「共生」やケアプラザ広報紙の発行、法人、区のホームページ、介護保険事業では介護サービス情報公表などにおいて、地域の皆様に、わかり易く親しみやすい手段・方法での情報公開に努めました。

紙媒体の広報の他、ホームページやフェイスブックの更新に努めました。より見やすいウェブページになるよう、レイアウト変更もいたしました。イベントなどの情報や、地域の活動団体の情報などを館内掲示板でも発信しました。

#### (8) 人権啓発への取組について

あらゆる方にとって暮らしやすい社会であるために、そして利用しやすいケアプラザであるために、日々のミーティングや研修の中で、職員間で人権について考える機会を作ってきました。キーワードは『想像力!』。来館者が、そしてスタッフ相互が尊重されていると感じられる空間になるよう、職員会議などでもマナーや接遇について、そして人権について、あるべきフラットな関係について話し合う時間を持つてきました。

障害の有無を超えて知り合うことが、どなたにとっても暮らしやすい社会につながると考えたことから、ロビーを活用しての地域作業所の活動紹介を始めました。作業所の参加者が直接活動を紹介したり、作品を見せたりすることで来館者との出会いの場になりました。

また法人内に人権委員会を設置しており定期的に法人内の障がいの事業所やケアプラザが集まり事故や苦情などについて話し合いを行ってきました。年に一回、法人の事業所の職員が一堂に集まり人権について考える場も設けております。この研修の内容は参加しなかったスタッフにも伝達研修され、再度皆で話し合う機会となりました。

#### (9) 環境等への配慮及び取組について

電気の過度な利用をしなくて済むよう、電気量削減システムを整備いたしました。これにより人の感じる温度に近いまめな空調管理ができるようになり、効果は夏冬のエアコン稼働時期に表れました。

高齢の方から冬場部屋が温まりにくいとお声をいただき、利用のある部屋については朝ブラインドを開けて日差しを活用するなど、節電運営を心掛けてきました。

小さなお子さんも多いので、換気や適度な温度管理により快適な環境の維持に努めました。

ゴミの減量化・資源化・省エネ・緑化の推進に積極的に取り組んで参りました。裏紙の再利用や段ボール古紙などの資源化に取り組みました。

古紙は地域の資源回収に出し、また緑化は地域の方や利用団体のお力添えを得ながら花壇の花々や出窓の観葉植物を育ててきました。

記載内容に配慮しながら、裏紙や封筒のリサイクル利用も続けました。

## 以下、事業実績評価との共通部分

### 1 全事業共通

#### (1) 地域の現状と課題について

市営地下鉄ブルーライン沿線の、住宅と倉庫・工場などが混在した地区です。地区の西側の岡は市街化調整区域になっていて、地区の東側と南側は鶴見川に面しています。地区内に新羽駅と北新横浜駅を持ち、また高速横浜環状北線の出入り口ができ、車の流れが変わってきています。出入り口近くには新羽町南町会の町内会館が新たに建ちました。

高齢化率は18.9%→19.3%でゆるやかに上昇を続けました。高齢者の単身世帯や高齢夫婦のみの世帯は増加傾向にあります。

年間を通して多くの地域行事があり、学校と地域の連携も強い地区です。子どもたちへの伝統行事の継承も行われている地区です。

高齢者住宅や介護保険施設、事業所が多いのも特徴です。

新羽の未来をつくる会による駅近くのガード下美化活動も継続していますが、花壇では夏場の水不足など、ケアの手が足りないことが課題となっています。ひっとプランの中の部会では健康づくりや交流、情報発信の部会が活発に活動をされました。イベントカレンダーなどを定期発行している情報発信部会も、担い手を増やす検討を進めてきました。

災害時の実際の動きや『できるだけ自宅避難』などの知識が浸透していないことに、地域自体が課題意識を持っています。また実際の避難所運営を考えた訓練内容に変える工夫も重ねてきています。要援護者情報の共有だけでなく、広報紙を使ったPRの支援をしたり、見守りのネットワークやツール検討を一緒にしました。次年度も継続していきます。

地域の方の問題意識《孤食をなくしたい》の声掛けから、勉強会が開催され、ボラグループの立ち上がりから地域食堂が始動しました。子ども部会のメンバーは、イベントを検討するとともに、地域食堂のサポートに入ってきました。

団体により多くのボランティア活動をお勧めしていることもあって、活動したいと言ってくる団体数が増え、地域や施設へのご紹介が増えました。

#### (2) 総合相談（高齢者・子ども・障害者分野等の情報提供）

来所される方から様々なご相談を受けることが増えているため、区役所や5階にある地域生活支援センター海、区の基幹相談支援センターなどとも協力してご相談を受けています。多世代を見守りしてくださっている民生児童委員協議会にも定期的に顔を出し、情報交換を行いました。支援者向けの講座などで地域生活支援センターや基幹の相談員にご協力いただき、知り合える機会を増やしたことで連携相談が増えました。

#### (3) 各事業の連携

ケアプラザの自主事業については、地域包括の2職種＋地域活動交流のコーディネーター、生活支援コーディネーターの4職種の協働で実施しました。また居宅介護支援部門と包括の連携によって施設見学会も実施しました。

新羽地区の地域福祉保健計画推進委員会や分科会の検討では、地域包括の2職種も地区のサポートスタッフをコーディネーターと共に担い、地域情報を共有してそのサポートに当たりました。

日々の情報交換や定例会議等での情報共有により、4職種の連携の下、適切な事業運営ができるよう月2回定期的なミーティングを持ってきました。

個別レベルの地域ケア会議については、毎回連携して準備開催し、課題を地域と共有できるよう振り返りをしました。その中から共通する課題を包括レベルの地域ケア会議で検討し、今後の暮らしやすい社会へ向けて、地域と実現可能なシステム作りの検討を進めてきました。

ウォーキング講座などの健康維持の企画や、スリーA講座、認知症サポーター養成講座など理解を広める講座などを包括と生活支援が連携して開催しました。またエリアを絞って、地域の方が元気で暮らす工夫作りを検討しました。元になる資料や検討のポイントなどについては、部門をまたいで検討し、当日地域の方の生き生きとした生の声や実情を伺うことができました。

#### (4) 職員体制・育成、公正・中立性の確保

全職員研修を年5回実施するほか、法人あげての人権研修や外部研修及び伝達研修によって研鑽をはかりました。個人情報保護や救急対応、防災などの研修はもとより、気持ちよく使っていただくための接遇研修、各種の事業がどんな目的のもとに行われるのかを理解するケアプラザ研修、など各種の研修を組みました。

委託事業・介護保険事業ともに各事業の人員基準を充足した職員体制で事業運営しましたが、ケアプラザが知られるにつれ、相談も部屋の利用率も上昇しているため、実情に合わせた増員を掛けました。

各職員が自己研鑽の機会を多く持ち、互いに高め合いやりがいを感じる等、生きがいある働きやすい職場の風土の醸成、職場環境整備に努め、職員の定着化を図りました。

職員発の研修を組み、また職員から提案のあった会議や研修の持ち方など、提案したことが順次試されていき、よい方法が残るよう提案しがいのある職場作りに努めました。

お部屋利用の予約方法について、またサービスご利用の案内役となる相談部門についてはその案内が公正中立になるよう、普段からミーティングなどで確認の機会を持ってきました。

#### (5) 地域福祉保健のネットワーク構築

新羽地区の地域福祉保健計画の推進にサポートスタッフとして、区役所・区社協との連携の下、積極的に関わりを持ち、各関係機関・団体間の橋渡しが担えるよう努めました。

また秋には連合町会と要援護者の情報共有に関する覚書を交わし、さらなる情報共有を図ることになりました。

子どもさんに向けて食堂などの活動ができないか、と提案くださった方の声を、町会や子ども部会など地域の方々と一緒に伺い、勉強会を開催し、ボランティアグループの誕生に立ちあうことができました。

またご利用団体の多くが、ボランティア活動を行いたいと言ってくださったことを受け、地域の施設などにつなぎ、活動内容を活かしたボランティアが実現しました。

ガード下の美化活動、地域福祉計画の中の5分科会の推進など、新羽地区は多彩な活動を進めているため、フェイスブックを活用して情報発信をしてまいりました。活動団体が相互に知り合えるイベントとしておまつり『にっぽらっばフェスティバル』も実施しました。

親子サークルはじめ、年齢層広い方の出入りがあるケアプラザです。地域情報ほか、地域ボランティア情報なども見やすいチラシ形式にまとめ、ウォーキングポイントリーダーの脇に置くなど、気軽に持ち帰ってもらえる工夫もしました。

## (6) 区行政との協働

介護予防、地域ケア会議、地域の生活支援体制整備、地域の福祉計画の推進など、サポートスタッフとしての方向性やプロセスを共有できるよう、定例会議を含め、まめに情報意見交換を行いました。6月9日には子ども家庭支援課や生活支援課の地区担当職員を交え、全体会議も行いました。また講座から生まれた事後サークルの活動支援などについても協力して進めていくことで継続して活動できました。

## 2 地域活動交流事業

### (1) 自主企画事業

なかなか、ケアプラザに足を運んでもらう機会が少ない子育て世代に向けた新しい事業を企画しました。

また、子ども食堂をやりたいといった一人の声から、仲間を集めるために地域食堂の勉強会を開催し、団体を立ち上げ、自主化。毎月、28日に地域食堂が開催されています。

#### ■子育て支援

- ・子育てサロン「たんぽぽにっば」

#### ■障がい児支援

- ・「こうほく・なつとも」年1回
- ・「こうほく・からふる」年3回（小学生、中学生、高校生版）

#### ■地域一般支援

- ・新羽音楽会 年2回（①アルパ、②スティールパン）
- ・にっばらっばフェスティバル
- ・地域食堂勉強会

#### ■コミュニティハウス事業

- ・音の波・言の葉コンサート
- ・子育てママ向けパーソナルカラー講座

以上の自主企画事業を実施いたしました。

### (2) 福祉保健活動団体等が活動する場の提供

地域活動の紹介や自主事業への協力等、趣味を目的とする活動団体の中に、福祉保健活動が位置づけられるように、月1回開催の予約会や利用者全体会議での情報共有の場をつくりました。

### (3) ボランティアの育成及びコーディネート

『にっぽらっぱフェスティバル』では多くの団体、個人がボランティアとしてご活躍くださいました。特に今年度については、当日だけではなく、事前準備に協力してくれる団体の方々も多く、日々、ボランティアに関わってくださる方が増えています。また、新羽で地域食堂をやりたいといった一人の声から、仲間づくりのために勉強会を開催し、地域食堂を運営するボランティア団体が立ち上がった。自主化後も継続的なサポートを行っていることも大きな成果の一つだと思っています。

### (4) 福祉保健活動等に関する情報収集及び情報提供

福祉保健活動団体に自主事業への協力を依頼したり、地域活動への参加を促したりしました。趣味を目的とする活動団体に対して、福祉保健活動の情報を整理し、お伝えする機会を意図的に作りました。

また、登録団体が増えてきたことから、予約会での円滑な運営方法を団体のみなさまにも一緒に考えてもらいながら、運営を行い工夫を重ねています。

## 3 生活支援体制整備事業

### (1) 事業実施体制

高齢者の交流の場を持つときに、お手伝いいただけるグループへと繋がるボランティア講座を開催しました。

コーヒーボランティアグループを立ち上げ、ケアプラザや近隣の施設で毎月サロンを開催しています。

また男性の社会参加のきっかけづくりとして、長期のパン作り講座を開催し、サークル化へと繋げました。

### (2) 地域アセスメント（ニーズ・資源の把握・分析）

老人会やグランドゴルフ練習場などに出向き、小さな集まりの中からのニーズの拾い上げに努めました。

包括部門の出張講座や出張相談へ同行し、参加状況から地域特性を把握し、参加者の話を聞くことで、ニーズの把握に努めました。

また、市が作成する「地域活動・サービスリスト（地域活動の団体情報や、ちょっとした生活支援サービスの情報）」のデータ集約を行いました。

### (3) 連携・協議の場

北新羽エリアの協議の場を開催してきました。エリア内の高齢者施設が地域とつながりを持ちたいとの思いがあり、いろいろな連携を図っていきそうです。

協議体の参加者を増やすために、町会に出席してこの取り組みについて話しました。

#### (4) より広域の地域課題の解決に向けた取組

交通手段のない地域の足をいかに確保していくかは大きな課題です。  
区内コーディネーター連絡会に参加し、区役所や区社協だけでなく、関係する企業等とのつながりを考えました。  
地域のワーカーズコレクティブとも地域支援について一緒に考えています。

### 4 地域包括支援センター運営事業

#### (1) 総合相談支援業務

##### ① 地域におけるネットワークの構築

地域とケアプラザ、他職種の皆様の間で見守りシステムを作り、ネットワークを強化するために地域ケア会議を重ねることで、問題の共有や理解が進み見守りシステムの素案づくりを始めることが出来ました。  
また、地域に出向いての相談や行事などへの呼びかけを行うことで身近な相談の場としての周知ができ相談も増えていきますし、地域と連携ができるようになっております。

##### ② 実態把握

実態の把握のため、総合相談票を用いて、情報の分析と優先順位を考え支援の強化を図りました。特に地域情報はJAGESデータを参考に地域特性を理解し支援方法を行うことにより抱える健康や暮らしの問題等把握でき、支援に役立てることができました。  
多問題を抱えたケースの相談も増えてきており、区役所、他職種、専門機関と情報共有をおこい連携をとりながら支援しました。

##### ③ 総合相談支援

総合相談の増加と相談ケースの対応の難化に伴い、連携がとりやすいように相談票の管理方法を月毎に色分けし見やすくしました。  
対応が必要な利用者様は職員で共有できるよう朝ミーティング時情報共有時間を設けました。また、専門職同士の連携の際には事例検討を行い現状の共有と課題の洗い出しをおこないケアプランなどに落とし込みました。  
毎月出張相談会を開催していくことで地域住民へ身近な相談窓口としての認識を深めて頂けるよう周知活動を行いました。

#### (2) 権利擁護業務

##### ① 成年後見制度の活用促進・消費者被害の防止

成年後見、相続、遺言、年金、消費者被害防止などの制度がより身近なものであることを継続的に地域住民の皆様知って頂けるような機会を設けました。具体的取組としては、年間を通して毎月異なるテーマの講座（相続、遺言、住宅、片付け）を開催いたしました。  
区役所、法律職、市民後見人等との連携のため成年後見サポートネットへの参加をおこない他職種と連携して参りました。



## ② 高齢者虐待への対応

高齢者虐待のケースに対して、相談票と虐待防止ハンドブックを用い情報を明確化し区と連携しながら対応できるように努めました。

高齢者虐待を未然に防ぐ観点から、介護者のつどい～カフェっぱ～を開催し介護者の方やこれからの介護に不安がある方などにお集まり頂くことで顔の見える関係作りと相談機関を周知し理解を深める努力をしました。

## ③ 認知症

地域向けに認知症の正しい理解を促進し、認知症予防に向けた取り組みをさらに充実させるため、具体的には、認知症サポーター養成講座を学校や企業、地域向けに開催しました。

キャラバンメイトのつどいについても積極的に開催いたしました。キャラバンメイトの皆様と連携体制を構築したことで、中学生向けの認知症サポーター養成講座を開催実現できました。

認知症カフェの充実化を図るため、認知症カフェ「お茶処ココロ庵」を地域住民のボランティアとケアプラザとの共同で開催し、ケアプラザ内で2か月に1回開催いたしました。9月以降はボランティアが主催で運営していくことで、より地域に根着いた活動として進めているところです。

## (3) 包括的・継続的ケアマネジメント支援業務

### ① 地域住民、関係機関等との連携推進支援

新羽地区の特性をケアプラザ内で把握し、地域住民・関係機関に情報提供し住民による支援、専門職の連携が円滑に行えるよう、地域ケア会議や事業に参加を呼びかけました。毎月の民生委員児童委員協議会、ひっとプラン推進会議へは継続的に参加をしました。特に毎月定例会開催する部会の参加と連携した行事計画・開催をおこなうことで、顔と顔の見える関係作りはもちろんですが、地域と共に考え連携推進できるよう努めました。

### ② 医療・介護の連携推進支援

ケアマネジャーと管轄エリアの医療機関の連携を図るため交流の場や情報共有するために、ケアマネジャー向けの研修や交流会を開催しました。

特に、ケアマネジャーからの相談が多い医療と福祉の連携や介護保険と障害制度の理解や多問題家族へのアプローチなどの事例検討を随時行いました。

また未来の医療介護の円滑な連携推進のためにも、看護学生の受け入れを2日間行いました。

### ③ ケアマネジャー支援

定期的にケアマネジャーと情報共有する場を設け、顔のつながり強化と課題の共有をおこない、解決に向けたアプローチ方法を探るため、定期的に地域の民生委員との懇談会や区との定例カンファレンスの際にケアマネジャーに参加を呼びかけました。情報共有や事例のアプローチ方法を考える場を作り、ケアマネジャーが地域との顔の見える関係作り構築ができるよう、同時にスキルアップが出来るように努力しました。

高齢の方にも伝わりやすい話し方、会議の効果的な進め方話し方についての研修を開催しました。また協力医との懇談会の機会でも、情報を得るだけでなくケアマネジャーにとどまらないエリア担当者の顔合わせになるよう企画開催しました。

## (4) 多職種協働による地域包括支援ネットワークの構築・地域ケア会議

### 多職種協働による地域包括支援ネットワークの構築・地域ケア会議

地域ケア会議にて事例検討を重ねケアプラザ、他職種間連携で顔の見える関係作りを構築しネットワーク体制を整える努力を重ねてきたことで、会議の理解や地域との連携がスムーズになり支援環境を整えることができました。

協力医や港北区在宅医療連携室等を連携して医療と福祉のよりよい連携の取り方、在宅医療の最新動向など情報共有できる場を設け、支援に役立てるように努力しました。

## (5) 介護予防ケアマネジメント（指定介護予防支援事業・第1号介護予防支援事業）

### 介護予防ケアマネジメント（指定介護予防支援事業・第1号介護予防支援事業）

利用者との信頼関係の中で安心してサービスを利用し、介護予防に取り組めるように、アセスメントを行い、その状態に置かれている環境に応じ、目標を設定し達成に向けて利用者自身が介護予防を実施し、評価できるように支援しました。また、困難ケースは地域・区・関係事業所と連携しより良いケアマネジメントができるよう努力しました。

## (6) 一般介護予防事業

### 一般介護予防事業

高齢者が地域の場で介護予防や、体力向上に継続して取り組めるように年間通して学び・通う場を提供することで元気で過ごす必要性を意識できるよう取り組みました。具体的には、介護予防教室を年間を通えるように、短期コースと長期コースを取り入れることで介護予防の意識づけができました。

また、通いの場に参加できない地域に向けては地域住民の特性・地理的な要素も考え出前講座を開催し、健康づくりを意識してもらえるよう取みを行い、高齢化してきた老人会にむけ介護予防普及啓発として体操・ミニ講座を継続的に行いました。

## 5 その他

来所時により喜んでいただけるよう、館内の緑化維持や整備につとめ、ロビーの掲示物やプレイルームの本、おもちゃの整備に工夫を重ねました。職員だけでは手の回らない箇所も多く、ボランティアで整備を手伝ってくださる来館者のお力が大きかったです。

また今年度は新たに地域事業所と協働し、ロビーを活用した出会いの場を作っていました。同じ施設の中に地域生活支援センター海があることや、基幹相談支援センターなど障害の方々を支える機関があることを、イベントや見学者案内の折ごとにPRしました。次年度も続けていきます。

以下、地域ケアプラザ事業実績評価との相違部分

【介護保険事業】

●指定介護予防支援事業・第1号介護予防支援事業

《職員体制》

社会福祉士 1名(常勤、管理者兼務)  
保健師 1名(常勤)  
計2名体制。

《目標に対する成果等》

いつまでにどのような生活行為が出来るようになるか、具体的な目標を明確にしつつ、総合的かつ効果的な支援プランを作成しました。また、介護予防サービスの提供を確保し、目標達成状況に応じて計画の見直しを行い、次の支援に役立てるよう努力しました。

プラン作成にあたっては、福祉や医療サービスとの連携に十分配慮しました。また、介護保険サービスのみならず、地域のインフォーマルサービス情報を積極的に取り入れた介護予防支援プランを作成できるよう努めました。

《実費負担（徴収する場合は項目ごとに記載）》

●通常のサービス提供地域を超える地域への訪問・出張の際にはその旅費（実費）のご負担をお願いすることがありました。

《その他（特徴的な取組、PR等）》

・介護予防支援のインターネット請求への移行をしました。

《利用者実績》

※ 単位は省略してください。

【単位：人】

4月	5月	6月	7月	8月	9月
78	88	89	92	95	95
10月	11月	12月	1月	2月	3月
96	97	97	97	100	101

●居宅介護支援事業

《職員体制》

介護支援専門員	管理者（常勤兼務）	1名
	常勤	1名
	非常勤	1名

《目標に対する成果等》

1. 住み慣れた地域でその人らしく自立した生活が営むことを目標とし、ご利用者の意思を尊重し、心身や置かれている環境状況等に応じた居宅サービス計画の作成に努めました。
2. サービス提供にあたっては、サービス種類や事業所に偏ることなくまた、介護保険サービスのみならず地域のインフォーマルサービス情報も情報提供して、ご利用者ご自身にあった、より良いサービスをご自身で選択できるように支援いたしました。
3. 外部研修により最新の情報を収集し、福祉拠点のケアプラザとしての責務を果たしていきました。

《実費負担（徴収する場合は項目ごとに記載）》

通常サービス提供地域を超える地域への訪問・出張する際にはその旅費(実費)のご負担をお願いすることがありました。

《その他（特徴的な取組、PR等）》

同法人内の4か所の居宅介護支援事業所のケアマネジャーが定期的に集まり、制度の解釈情報交換、事例検討、研修などを実施し、ケアマネジメントの質の向上に努めている。法人内で弁護士や心理療法士、医師等の専門職に相談することができ、

自己研鑽の機会が多く設定されています。また近隣の居宅介護支援事業所と協働のもと情報交換・事例検討の場“丘の上倶楽部”を2カ月に1回開催しました。

地域に数多くある福祉施設と地域の方々との橋渡し役として、地域の福祉施設の理解を深めることを目的とした、地域の福祉施設見学会を近隣の老人保健施設と企画共催で年1回開催しました。

《利用者実績》

※ 単位は省略してください。

【単位：人】

4月	5月	6月	7月	8月	9月
44	44	41	42	40	38
10月	11月	12月	1月	2月	3月
38	38	40	40	42	44

## コミュニティハウス事業

### (1) 運営方針

地域住民が自ら生活環境の向上のために自主的に活動し、スポーツ、レクリエーション、クラブ活動等を通じて相互の交流を深めるための場の提供をするとともに、地域住民の福祉の向上を図るための自主事業を企画して、地域住民の自主的な活動を支援しました。地域住民の、子どもから高齢者まで幅広い層の誰もが気軽に利用し、様々な活動をきっかけに、地域コミュニティの醸成や地域の連携が実現します。ケアプラザのようにその活動が福祉保健の活動に特化しているのではなく、取り組みやすいスポーツや趣味等のサークル活動の、仲間との交流を通して互いに支え合い、その支えあいを広げていく場として運営しました。ケアプラザ利用団体とコミュニティハウス利用団体が相互に知り合う場を利用者懇親会で作ったり、にっぽらっぴフェスティバルで活動を相互に見ることができるよう交流をしました。

### (2) 運営目標

より幅広く多くの方々にご利用いただけるように運営しました。貸館はケアプラザと一体的に運用しますが、利用予約に関し、公平でわかりやすいルールを策定して受付・調整を行いました。また、利用者会議やアンケートを通して意見・要望等をいただき、それらに応えつつ、その中に潜む地域福祉保健の課題を見出して、必要に応じてケアプラザ事業等につなげ、課題解決に向けて地域と協働して参りました。

広報紙はカラー化し、ホームページでは自施設のPRだけでなく、協力・連携する地域活動もできる限り周知しました。また、外部からの広報・チラシ類を見やすく、なるべくたくさん配架するよう、館内の整備につとめました。

### (3) 自主事業目標

- ・ケアプラザと合同のにっぽらっぴフェスティバル
- ・音の葉・言の葉コンサート（朗読と音楽）
- ・大工の棟梁による木工教室（夏休みのお子さん対象の企画）

コミュニティハウスならではの、参加年齢層の広い企画を開催いたしました。多くの方に複合施設を知っていただく機会ともなりました。コンサートやお子さんが参加できる講座は、親御さんも一緒に来館くださることの多い大切な交流事業です。次年度はさらに多くの方にご参加いただけるよう、複合館の強みを生かしたコミュニティハウス事業を開催していきます。

平成29年度「横浜市新羽地域ケアプラザ」  
収支予算書及び報告書(一般会計)〈地域活動〉

収入の部

(税込、単位：円)

科目	当初予算額 (A)	補正額 (B)	予算現額 (C=A+B)	決算額 (D)	差引 (C-D)	説明
指定管理料	15,841,716	461,202	15,380,514	15,380,514	0	横浜市より
利用料金収入			0	0	0	
指定管理料充当 事業	0		0	3,230	3,230	
自主事業収入			0	0	0	
雑入	0	0	0	67,335	67,335	
印刷代	0		0	0	0	
自動販売機手数料	0		0	0	0	
駐車場利用料金収入	0		0	0	0	
その他 (指定管理料充当)	0		0	67,335	67,335	
その他 (施設使用料相当額 法人負担分)	0		0	0	0	
その他 (提案時控除 法人負担分)	0		0	0	0	
<b>収入合計</b>	<b>15,841,716</b>	<b>461,202</b>	<b>15,380,514</b>	<b>15,451,079</b>	<b>70,565</b>	

支出の部

科目	当初予算額 (A)	補正額 (B)	予算現額 (C=A+B)	決算額 (D)	差引 (C-D)	説明
<b>人件費</b>	<b>10,000,000</b>	<b>0</b>	<b>10,000,000</b>	<b>9,709,986</b>	<b>290,014</b>	
本俸	6,200,000		6,200,000	6,068,626	131,374	
社会保険料	1,000,000		1,000,000	997,264	2,736	
手当計	2,500,000		2,500,000	2,384,190	115,810	
健康診断費	35,000		35,000	25,448	9,552	
勤労者福祉共済掛金	0		0	0	0	
退職給付引当金繰入額	85,000		85,000	84,270	730	
その他	180,000		180,000	150,188	29,812	
<b>事務費</b>	<b>2,062,286</b>	<b>0</b>	<b>2,062,286</b>	<b>1,864,338</b>	<b>197,948</b>	
旅費	50,000		50,000	38,360	11,640	
消耗品費	300,000		300,000	178,455	121,545	
会議賄い費	0		0	0	0	
印刷製本費	43,000		43,000	31,770	11,230	
通信費	400,000		400,000	365,680	34,320	
使用料及び賃借料	0	0	0	186,120	186,120	
横浜市への支払分	0		0	0	0	
その他	0		0	186,120	186,120	
備品購入費	300,000		300,000	667,287	367,287	
図書購入費	0		0	0	0	
施設賠償責任保険	60,000		60,000	56,849	3,151	
職員等研修費	10,000		10,000	3,906	6,094	
振込手数料	35,000		35,000	24,734	10,266	
リース料	645,000		645,000	40,654	604,346	
手数料	10,000		10,000	2,484	7,516	
地域協力費	20,000		20,000	16,000	4,000	
その他	189,286		189,286	252,039	62,753	
<b>事業費</b>	<b>247,715</b>	<b>0</b>	<b>247,715</b>	<b>140,899</b>	<b>106,816</b>	
運営協議会経費	42,000		42,000	10,670	31,330	予算：指定額
指定管理料充当 事業	205,715		205,715	130,229	75,486	
<b>管理費</b>	<b>2,731,715</b>	<b>0</b>	<b>2,731,715</b>	<b>1,993,084</b>	<b>738,631</b>	
建築物・建築設備点検	0		0	0	0	予算：指定額
光熱水費	660,000	0	660,000	881,363	221,363	
電気料金	600,000		600,000	794,815	194,815	
ガス料金	20,000		20,000	16,393	3,607	
水道料金	40,000		40,000	70,155	30,155	
清掃費	800,000		800,000	792,982	7,018	
修繕費	474,000	0	474,000	12,798	461,202	予算：指定額
機械警備費	160,000		160,000	154,347	5,653	
設備保全費	286,400	0	286,400	151,594	134,806	
空調衛生設備保守	86,400		86,400	151,594	65,194	
消防設備保守	0		0	0	0	
電気設備保守	0		0	0	0	
害虫駆除清掃保守	0		0	0	0	
駐車場設備保全費	0		0	0	0	
その他保全費	200,000		200,000	0	200,000	
共益費	0		0	0	0	
その他	351,315		351,315	0	351,315	
<b>公租公課</b>	<b>800,000</b>	<b>0</b>	<b>800,000</b>	<b>776,798</b>	<b>23,202</b>	
事業所税			0	0	0	
消費税	800,000		800,000	776,798	23,202	
印紙税			0	0	0	
その他 ( )			0	0	0	
事務経費 (計算根拠を説明欄に記載)	0	0	0	0	0	
本部分			0	0	0	
当該施設分			0	0	0	
二一ズ対応費			0	0	0	
<b>支出合計</b>	<b>15,841,716</b>	<b>0</b>	<b>15,841,716</b>	<b>14,485,105</b>	<b>1,356,611</b>	
差引	0	461,202	461,202	965,974	1,427,176	

自主事業費収入	205,715		205,715	0	205,715	予算：指定管理料に含む
自主事業費支出	205,715		205,715	130,229	75,486	
自主事業収支	0	0	0	130,229	130,229	⇒自主事業(指定管理料充当の自主事業)費

管理許可・目的外使用許可収入	0		0	0	0	駐車場利用料金・自動販売機手数料収入等法人収入
管理許可・目的外使用許可支出	0		0	0	0	使用料(横浜市への支払等)・駐車場設備保全費
管理許可・目的外使用許可収支	0		0	0	0	

平成29年度「横浜市新羽地域ケアプラザ」  
収支予算書及び報告書(特別会計)〈包括・介護予防・生活支援体制整備〉

収入の部

(税込、単位：円)

科目	当初予算額 (A)	補正額 (B)	予算現額 (C=A+B)	決算額 (D)	差引 (C-D)	説明
指定管理料(包括)	17,143,830	710,598	16,433,232	16,433,232	0	横浜市より
指定管理料(介護予防)	151,000		151,000	151,000	0	横浜市より
指定管理料(生活支援)	5,789,000	0	5,789,000	5,789,000	0	横浜市より
利用料金収入			0		0	
指定管理料充当事業(包括)	0		0	10,700	10,700	
指定管理料充当事業(介護予防)	0		0	1,500	1,500	
指定管理料充当事業(生活支援)	0		0	57,800	57,800	
自主事業収入			0		0	
雑入	0	0	0	0	0	
印刷代	0		0	0	0	
自動販売機手数料	0		0	0	0	
駐車場利用料金収入	0		0	0	0	
その他(指定管理充当分)	0		0	0	0	
その他(提案時控除 法人負担分)	0		0	0	0	
<b>収入合計</b>	<b>23,083,830</b>	<b>710,598</b>	<b>22,373,232</b>	<b>22,443,232</b>	<b>70,000</b>	

支出の部

科目	当初予算額 (A)	補正額 (B)	予算現額 (C=A+B)	決算額 (D)	差引 (C-D)	説明
<b>人件費</b>	<b>19,930,000</b>	<b>0</b>	<b>19,930,000</b>	<b>16,472,194</b>	<b>3,457,806</b>	
本俸	11,000,000		11,000,000	8,628,777	2,371,223	
社会保険料	2,700,000		2,700,000	2,195,014	504,986	
手当計	5,500,000		5,500,000	4,978,575	521,425	
健康診断費	30,000		30,000	23,694	6,306	
勤労者福祉共済掛金	0		0	0	0	
退職給付引当金繰入額	300,000		300,000	195,570	104,430	
その他	400,000		400,000	450,564	50,564	
<b>事務費</b>	<b>1,234,286</b>	<b>0</b>	<b>1,234,286</b>	<b>1,166,339</b>	<b>67,947</b>	
旅費	50,000		50,000	47,220	2,780	
消耗品費	200,000		200,000	117,693	82,307	
会議備費	0		0	0	0	
印刷製本費	0		0	0	0	
通信費	300,000		300,000	248,274	51,726	
使用料及び賃借料	230,000	0	230,000	116,468	113,532	
横浜市への支払分	0		0	0	0	
その他	230,000		230,000	116,468	113,532	
備品購入費	30,000		30,000	20,520	9,480	
図書購入費	0		0	0	0	
施設賠償責任保険	10,000		10,000	7,106	2,894	
職員等研修費	10,000		10,000	6,120	3,880	
振込手数料	20,000		20,000	15,107	4,893	
リース料	12,000		12,000	10,807	1,193	
手数料	20,000		20,000	18,840	1,160	
地域協力費	2,000		2,000	1,000	1,000	
その他	350,286		350,286	557,184	206,898	
<b>事業費</b>	<b>1,192,858</b>	<b>0</b>	<b>1,192,858</b>	<b>410,103</b>	<b>782,755</b>	
協力医	630,000		630,000	42,000	588,000	予算:指定額
指定管理料充当自主事業(包括)	102,858		102,858	54,699	48,159	
指定管理料充当事業(介護予防)	151,000		151,000	152,634	1,634	予算:指定額
指定管理料充当自主事業(生活支援)	309,000		309,000	160,770	148,230	予算:指定額
<b>管理費</b>	<b>726,686</b>	<b>0</b>	<b>726,686</b>	<b>529,797</b>	<b>196,889</b>	
建築物・建築設備点検	0		0	0	0	予算:指定額
光熱水費	240,000	0	240,000	234,286	5,714	
電気料金	200,000		200,000	211,280	11,280	
ガス料金	10,000		10,000	4,357	5,643	
水道料金	30,000		30,000	18,649	11,351	
清掃費	250,000		250,000	210,787	39,213	
修繕費	126,000		126,000	3,402	122,598	予算:指定額
機械警備費	40,000		40,000	41,028	1,028	
設備保全費	37,000	0	37,000	40,294	3,294	
空調衛生設備保守	12,000		12,000	40,294	28,294	
消防設備保守	0		0	0	0	
電気設備保守	0		0	0	0	
害虫駆除清掃保守	0		0	0	0	
駐車場設備保全費	0		0	0	0	
その他保全費	25,000		25,000	0	25,000	
共益費	0		0	0	0	
その他	33,686		33,686	0	33,686	
<b>公租公課</b>	<b>0</b>	<b>0</b>	<b>0</b>	<b>0</b>	<b>0</b>	
事業所税			0		0	
消費税	0		0		0	
印紙税			0		0	
その他( )			0		0	
事務経費(計算根拠を説明欄に記)	0	0	0	0	0	
本部分			0		0	
当該施設分			0		0	
二一ズ対応費			0		0	
<b>支出合計</b>	<b>23,083,830</b>	<b>0</b>	<b>23,083,830</b>	<b>18,578,433</b>	<b>4,505,397</b>	
<b>差引</b>	<b>0</b>	<b>710,598</b>	<b>710,598</b>	<b>3,864,799</b>	<b>4,575,397</b>	

自主事業費収入	562,858		562,858	70,000	492,858	予算:指定管理料に含む
自主事業費支出	562,858		562,858	368,103	194,755	
自主事業収支	0		0	298,103	298,103	⇒自主事業(指定管理料充当の自主事業)費

管理許可・目的外使用許可収入	0			0		駐車場利用料金・自動販売機手数料収入等法人
管理許可・目的外使用許可支出	0			0		使用料(横浜市への支払等)・駐車場設備保全費
管理許可・目的外使用許可収支	0			0		



# 平成 29年度 地域ケアプラザ収支報告書<介護保険事業分>

施設名: 横浜市新羽地域ケアプラザ

平成29年4月1日～平成30年3月31日

(単位: 千円)

	科目	介護予防支援	居宅介護支援	通所介護	予防通所介護・ 第1号通所介護
	収入	介護保険収入	2504	5736	
その他		804	0	0	0
介護予防ケアマネジメント 費		804	0		
事業・負担金収入		0	0		
認定調査費		0	0		
その他					
<b>収入合計(A)</b>		<b>3308</b>	<b>5736</b>	<b>0</b>	<b>0</b>
支出	人件費	638	6228		
	事務費	615	473		
	事業費	54	0		
	管理費	277	0		
	その他	1407	0	0	0
	利用者負担軽減額	0	0		
	消費税	0	0		
	介護予防プラン委託料	0	0		
	他事業所委託料	1407	0		
			0		
	その他				
<b>支出合計(B)</b>	<b>2991</b>	<b>6701</b>	<b>0</b>	<b>0</b>	
<b>収支 (A) - (B)</b>		<b>317</b>	<b>-965</b>	<b>0</b>	<b>0</b>

## 平成29年度 「新羽コミュニティハウス」 収支予算書兼決算書

収入の部

(税込、単位：円)

科目	当初予算額 (A)	補正額 (B)	予算現額 (C=A+B)	決算額 (D)	差引 (C-D)	説明
指定管理料	6,677,000		6,677,000	6,677,000	0	横浜市より
利用料金収入			0		0	
自主事業（指定管理料充当の自主事業）収入			0		0	
自主事業収入			0		0	
雑入	0	0	0	0	0	
印刷代			0		0	
自動販売機手数料			0		0	
駐車場利用料金収入			0		0	
その他（ ）			0		0	
<b>収入合計</b>	<b>6,677,000</b>	<b>0</b>	<b>6,677,000</b>	<b>6,677,000</b>	<b>0</b>	

支出の部

科目	当初予算額 (A)	補正額 (B)	予算現額 (C=A+B)	決算額 (D)	差引 (C-D)	説明
<b>人件費</b>	<b>4,482,000</b>	<b>0</b>	<b>4,482,000</b>	<b>1,911,453</b>	<b>2,570,547</b>	
給与・賃金	4,000,000		4,000,000	1,823,191	2,176,809	
社会保険料	30,000		30,000	12,182	17,818	
通勤手当	422,000		422,000	65,550	356,450	
健康診断費	30,000		30,000	10,530	19,470	
勤労者福祉共済掛金			0		0	
退職給付引当金繰入額			0		0	
<b>事務費</b>	<b>566,000</b>	<b>0</b>	<b>566,000</b>	<b>728,065</b>	<b>162,065</b>	
旅費			0		0	
消耗品費	175,000		175,000	78,449	96,551	
会議賄い費			0		0	
印刷製本費	120,000		120,000	7,117	112,883	
通信費	131,000		131,000	106,464	24,536	
使用料及び賃借料	70,000	0	70,000	134,840	64,840	
横浜市への支払分			0		0	
その他	70,000		70,000	134,840	64,840	
備品購入費	20,000		20,000	16,047	3,953	
図書購入費			0		0	
施設賠償責任保険			0		0	
職員等研修費			0		0	
振込手数料	20,000		20,000	15,924	4,076	
リース料	30,000		30,000	369,224	339,224	
手数料			0		0	
地域協力費			0		0	
<b>事業費</b>	<b>258,000</b>	<b>0</b>	<b>258,000</b>	<b>60,118</b>	<b>197,882</b>	
自主事業（指定管理料充当の自主事業）費	258,000		258,000	60,118	197,882	
自主事業費			0		0	
<b>管理費</b>	<b>1,430,000</b>	<b>0</b>	<b>1,430,000</b>	<b>1,207,866</b>	<b>222,134</b>	
光熱水費	532,000	0	532,000	531,994	6	
電気料金	488,845		488,845	488,845	0	
ガス料金			0		0	
水道料金	43,155		43,155	43,149	6	
清掃費	798,000		798,000	487,711	310,289	
修繕費			0		0	
機械警備費			0	94,929	94,929	
設備保全費	100,000	0	100,000	93,232	6,768	
空調衛生設備保守	100,000		100,000	93,232	6,768	
消防設備保守			0		0	
電気設備保守			0		0	
害虫駆除清掃保守			0		0	
駐車場設備保全費			0		0	
その他保全費			0		0	
共益費			0		0	
<b>公租公課</b>	<b>0</b>	<b>0</b>	<b>0</b>	<b>152,916</b>	<b>152,916</b>	
事業所税			0		0	
消費税			0		0	
印紙税			0		0	
その他（ ）			0	152,916	152,916	
<b>事務経費（計算根拠を説明欄に記載）</b>	<b>0</b>	<b>0</b>	<b>0</b>	<b>0</b>	<b>0</b>	
本部分			0		0	
当該施設分			0		0	
<b>二一ズ対応費</b>			<b>0</b>		<b>0</b>	
<b>支出合計</b>	<b>6,736,000</b>	<b>0</b>	<b>6,736,000</b>	<b>4,060,418</b>	<b>2,675,582</b>	
<b>差引</b>	<b>59,000</b>	<b>0</b>	<b>59,000</b>	<b>2,616,582</b>	<b>2,675,582</b>	

自主事業費収入				6,070		
自主事業費支出				66,188		
自主事業収支				60,118		
管理許可・目的外使用許可収入				0		
管理許可・目的外使用許可支出				0		
管理許可・目的外使用許可収支				0		

# 平成29年度 自主事業報告書

## 横浜市新羽地域ケアプラザ及び横浜市新羽コミュニティハウス

事業名	目的・内容等	実施時期・回数
たんぽぽにっば	<p>【対象者】 地域の親子</p> <p>【目的】</p> <p>【実施内容等】 子育てボランティアグループたんぽぽにっばとの共催で毎月第2・4火曜日に会に開催している子育てサロン。年々参加する親子の数が増えており、毎回大変な盛り上がりを見せている。平成28年度は全22回開催で約700組の親子が参加した。</p>	毎月第2・4火曜日

事業名	目的・内容	実施時期・回数
こうほくからふる	<p>【対象者】 地域の障がい児</p> <p>【目的】 地域に住む障がい児の余暇支援を目的とした事業。</p> <p>【実施内容等】 港北区北部6館のケアプラザ共催 障がい児の余暇支援を目的とし、ケアプラザ担当地区内の障害のある小、中、高校生を対象に外出、室内レクなど様々なプログラムで開催している。今年度は、子ども宇宙科学館（小学生）、カップヌードルミュージアム（高校生）、しながわ水族館（中学生）などへの外出プログラムを3回開催した。</p>	年3回

事業名	目的・内容	実施時期・回数
ドレミっば♪ 新羽音楽会	<p>【対象者】 地域住民</p> <p>【目的】 音楽という誰もが親しめる媒体を通して、ケアプラザに様々な世代の人々が集まり、よりケアプラザを知っていただくために企画。</p> <p>【実施内容等】 1回目の演奏者にアルパ演奏者、2回目には、新羽高校吹奏楽部をお迎えした。当日は親子連れから80代の方まで幅広い年齢層の方々に参加いただき、お客さんも一体になれるプログラムによって充実した内容となった。</p>	全2回

事業名	目的・内容	実施時期・回数
みんなで考える 地域食堂のカタチ	<p>【対象者】 地域住民</p> <p>【目的】 「新羽の地域で子ども食堂を」という地域の一人の声から始まり、動き出すための仲間作りの機会として実施</p> <p>【実施内容等】 すでに子ども食堂を運営している3団体の方々を事例紹介として、お招きし、新羽で開催する場合にはどのようなカタチだったらいいのかを会場の参加者と一緒に考える。また、どんな関わり方ができるかといった項目をアンケートにて情報収集をし、仲間づくりのきっかけにし、地域食堂を運営する主体をつくる。</p>	7月9日

# 平成29年度 自主事業報告書

## 横浜市新羽地域ケアプラザ及び横浜市新羽コミュニティハウス

事業名	目的・内容等	実施時期・回数
メンズ◆パンdeカフェ	<p><b>【対象者】</b> 近隣にお住いの男性</p> <p><b>【目的】</b> これまでケアプラザに足を運ぶことのなかった男性に、地域での仲間づくりや趣味を持つきっかけにしようために開催。その先、企画事業に関わってもらいたい。</p> <p><b>【実施内容等】</b> 自宅でできる簡単なパンの作り方を月に1回学ぶ。季節に合ったいろんな種類のパンを作り、男性の仲間づくりの場にしよう。</p>	毎月第1土曜日 6月より全10回

事業名	目的・内容	実施時期・回数
コーヒーボランティア講座	<p><b>【対象者】</b> 近隣住民</p> <p><b>【目的】</b> サロンや老人会など、地域の人が集まる場でコーヒーを淹れて振る舞うボランティアの育成</p> <p><b>【実施内容等】</b> 1日目：コーヒーの基礎知識 2日目：コーヒーの淹れ方実習 3日目：ボランティア活動と認知症について学ぶ 4日目：ココロ庵ボランティア体験</p>	6月25日より全4回

事業名	目的・内容	実施時期・回数
カフェ・ド・らんらん	<p><b>【対象者】</b> 地域住民</p> <p><b>【目的】</b> 地域の方が得意なことを活かしたり、新しい仲間を見つけたりできる、つどいの場にしたい。</p> <p><b>【実施内容等】</b> 会議・学習室を喫茶室として開放し、コーヒーボランティアらんのメンバーを中心に場づくりをしていく。コーヒーを150円で提供。出入り、お替り自由。</p>	10月2日 11月6日 12月6日 1月12日 2月1日 3月5日

事業名	目的・内容	実施時期・回数
にっぽらっばフェスティバル	<p><b>【対象者】</b> 地域住民</p> <p><b>【目的】</b> ケアプラザ・コミュニティハウスについて知っていただく。</p> <p><b>【実施内容等】</b> 当日は健康測定会や販売コーナー、活動団体の作品展示、地域のボランティアや作業所による模擬店、館内活動団体による発表、子育て支援者によるバルーンアートやスーパーボール、外では横浜市交通局のはまりんが登場し、お子さんの楽しめるミニ列車や地下鉄制服撮影までであるという充実の内容でした。昨年と同様に、子どもから大人まで楽しめるスタンプラリーの実施を行ったことから、にぎわいを見せた。また、ボランティアには学生から登録団体、地域の方々など多くのご協力をいただいたことも大きな成果の一つだった。</p>	11月26日

# 平成29年度 自主事業報告書

## 横浜市新羽地域ケアプラザ及び横浜市新羽コミュニティハウス

事業名	目的・内容等	実施時期・回数
ココロに届く話し方講座	<p>【対象者】 ケアマネジャー</p> <p>【目的】 高齢の方にも伝わりやすい、会議開催でも参加者に聞き取りやすい発音、話し方を学ぶ。</p> <p>【実施内容等】 講義・発声するための姿勢・滑舌トレーニング・マイクの使い方 話のまとめ方・質疑</p>	12月14日

事業名	目的・内容	実施時期・回数
未来これから塾。	<p>【対象者】 地域住民</p> <p>【目的】 権利擁護の啓蒙活動</p> <p>【実施内容等】 第1回 これからのお金の管理について 第2回 遺言、相続を学ぶ 第3回 これからの住まいのあり方について 第4回 お部屋の片づけで心もすっきり 第5回 自分らしいエンディングを考える</p>	10月2日 11月6日 12月4日 2月5日 3月5日

事業名	目的・内容	実施時期・回数
カフェっぱ	<p>【対象者】 介護者の方、介護に興味がある方</p> <p>【目的】 介護者の方々の介護負担を軽減する。介護の知識を深め、利用する際に困らないように準備するため。</p> <p>【実施内容等】 第1回 介護保険について 第2回 補聴器について 第3回 シニア向け住まい選び 住宅改修について</p>	6月15日 10月19日 2月15日

事業名	目的・内容	実施時期・回数
よってっ亭	<p>【対象者】 市営住宅住民向け</p> <p>【目的】 相談件数の多い市営住宅へ出張し、相談を受けることで、相談ケースの問題難化を防ぐため。相談件数の増加を抑制するため</p> <p>【実施内容等】 健康ミニ講座、介護保険の説明、医療について</p>	通年 計20回

# 平成29年度 自主事業報告書

## 横浜市新羽地域ケアプラザ及び横浜市新羽コミュニティハウス

事業名	目的・内容等	実施時期・回数
ココロ庵	認知症の方や認知症予防に興味がある方が家に閉じこもらず、他者と関わりを持つことでいきいきと過ごしていただけるきっかけ作りを目的として開催。 毎回、脳トレや口腔体操を取り入れたレクリエーション、軽食としてたんぱく質や野菜を取り入れた食事を提供している。地域のボランティア団体の皆様に協力を頂き、季節に合わせたイベントも適宜披露しています。	2か月に1回 年に6回

事業名	目的・内容	実施時期・回数
キャラバンメイト	認知症についての勉強や意見交流をおこなうことで講座内容の充実化を図り、キャラバンメイト同士の交流や協力体制を整える目的。また認知症サポーター養成講座に向けての講座内容打ち合わせや寸劇のシナリオ作り、練習などをおこなっている。	適宜 年6回

事業名	目的・内容	実施時期・回数
加藤先生とフリートークしませんか？	協力医の加藤医師を招き、地域のケアマネジャーや医療、介護事業従事者の皆様と懇談して、最新の医療や介護情報を共有することで関係機関同士の連携を図りやすくする目的がある。内容は、医療や介護情報の意見交換、懇談など。（テーマを設ける時もあり）	適宜 年に1回

事業名	目的・内容	実施時期・回数
きらきらスマイル交流会	日頃から健康づくりに励んでいる方や健康スクール参加者及び卒業生の方、ケアプラザで体操サークルに参加中の方たちむけに音楽療法を通じて仲間づくりの楽しさや継続して健康づくりに励むことが介護予防にもなることを学ぶ場とする。	12月18日(月)

# 平成29年度 自主事業報告書

## 横浜市新羽地域ケアプラザ及び横浜市新羽コミュニティハウス

事業名	目的・内容等	実施時期・回数
ハンサムポールウォーキング	<p>【対象者】地域住民</p> <p>【目的】ウォーキングポイントを活用し、ポールを使用し介護予防のウォーキング活動を定期的に行う。</p> <p>【実施内容等】ひっとプラン 健康づくりのボランティアや地域の講師ボランティアと共に月1回2時間半ポールウォーキングを楽しみ、前後に体操。雨天の場合は室内で筋トレ。</p>	毎月第3土曜日 9時半から12時 年12回

事業名	目的・内容	実施時期・回数
スリーAフレンズ	<p>【対象者】地域の住民</p> <p>【目的】地域住民の方々とあかるく・あたまをつかって・あきらめないの3つの「あ」のスリーAを一緒に広めてくれる仲間づくり。</p> <p>【実施内容等】毎月開催。お茶当番制で準備をし、みんなで笑いながら脳活性化させるゲームを行い、脳の活性化になりそうなゲームを発案したりお披露目したり楽しく活動している。年に1回はコグニサイズ等の講師を呼び活動の活性化を図る。</p>	1月と8月以外の第2月曜日・年10回

事業名	目的・内容	実施時期・回数

事業名	目的・内容	実施時期・回数

# 平成29年度 自主事業報告書

## 横浜市新羽地域ケアプラザ及び横浜市新羽コミュニティハウス

事業名	目的・内容等	実施時期・回数
音の波・言の葉 コンサート	<b>【対象者】</b> 地域住民 <b>【目的】</b> 音楽という誰もが親しめる媒体を通して、ケアプラザに 様々な世代の人々が集まり、よりケアプラザを知っていた くために企画。 <b>【実施内容等】</b> 朗読と音楽を掛け合わせた音楽会	12月に1回

事業名	目的・内容	実施時期・回数
パーソナル カラー講座	<b>【対象者】</b> 子育てママ <b>【目的】</b> これまで子育てママに向けた講座がなく、地域ケアプラザ を知っていただくこと、自分の時間をつくっていただく きっかけになればと思い、企画 <b>【実施内容等】</b> 自分に合ったカラーについて参加者同士で意見交換しな がら知る。	3月に1回

事業名	目的・内容	実施時期・回数

事業名	目的・内容	実施時期・回数



# 平成29年度 自主事業収支報告書

## 横浜市新羽地域ケアプラザ及び横浜市新羽コミュニティハウス

事業名	①主な対象者	自主事業決算額							
	②参加人数	総経費	収入			支出			
	③一人当たり参加費		指定管理料	参加費	その他	講師謝金	材料費	その他	
スリーA フレンズ	地域住民	54465	地活	4400	0	22272	3124	29069	
	15人、29人		包括						
	100円		介護						23896
			生活						26169
			コミハ						
未来これから塾	地域住民	10000	地活	0	0	10000	0	0	
	60人		包括						10000
	無し		介護						
			生活						
			コミハ						
ハンサムポールウォーキング	地域住民	0	地活	0	0	0	0	0	
	90人		包括						0
	無し		介護						
			生活						
			コミハ						
よってっ亭	地域住民・民生委員・事業所	1911	地活	0	0	0	0	1911	
	54人		包括						1911
	無し		介護						
			生活						
			コミハ						
キャラバンメイトのつどい	キャラバンメイト	820	地活	0	0	0	0	820	
	25人		包括						820
	無し		介護						
			生活						
			コミハ						
きらきらスマイル交流会	地域住民	5693	地活				5693		
			包括						
	無し		介護						
			生活						5693
			コミハ						
コーヒーボランティア講座	地域住民	32888	地活	3500		10000	22888		
	28人		包括						
	500円		介護						
			生活						29388
			コミハ						
メンズ◆パンdeカフェ	近隣にお住いの男性	87666	地活	46400		50000	37666		
	53人		包括						
	800円		介護						
			生活						41266
			コミハ						
カフェ・ド・らんらん	近隣住民	5454	地活	5000			5454		
	40人		包括						
	100円・150円		介護						
			生活						454
			コミハ						

# 平成29年度 自主事業収支報告書

## 横浜市新羽地域ケアプラザ及び横浜市新羽コミュニティハウス

事業名	①主な対象者	自主事業決算額							
	②参加人数	総経費	収入			支出			
	③一人当たり参加費		指定管理料	参加費	その他	講師謝金	材料費	その他	
たんぽぽにつぱ	地域の親子	0	地活	0	0	0	0	0	0
	1,060名		包括						
	なし		介護						
			生活						
			コミハ						
こうほくからふる	障がい児	11208	地活	11,208	0	0	0	0	11,208
	18名(1回6名×3回)		包括						
	なし		介護						
			生活						
			コミハ						
ドレミつぱ♪新羽音楽会	地域住民	30000	地活	30,000	0	0	30,000	0	0
	150名		包括						
	なし		介護						
			生活						
			コミハ						
みんなで考える 地域食堂のカタチ	地域住民	15000	地活	15,000	0	0	15,000	0	0
	41名		包括						
	なし		介護						
			生活						
			コミハ						
みんなで考える 地域食堂のカタチ	地域住民	3,200	地活	3,200	0	0	0	3,200	0
	41名		包括						
	なし		介護						
			生活						
			コミハ						
新羽音楽会	地域住民	20000	地活	20,000	0	0	20,000	0	0
	150名		包括						
	なし		介護						
			生活						
			コミハ						
につぱらつぱ フェスティバル	地域住民	54051	地活	50,821	0	3,230	0	0	54,051
	1,063名		包括						
	なし		介護						
			生活						
			コミハ						
につぱらつぱ フェスティバル	地域住民	26263	地活		0	1,570	0	0	26,263
	1063名		包括						
	なし		介護						
			生活						
			コミハ	24,693					
音の波・言の葉 コンサート	地域住民	33411	地活		0	0	0	0	33,411
	60名		包括						
	なし		介護						
			生活						
			コミハ	33,411					

